

資 料 5

～ 今後の取組方針の改定について ～

- 1 環瀬戸内海地域の交流促進に向けた新たな取組(案)

P1

環瀬戸内海地域の魅力の向上

H26d第2回協議会

- ◆環瀬戸内海地域のスポーツ観光の振興
(愛媛県・広島県・兵庫県・徳島県)
 - サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪
(四国一周ルートと地域ルートを組み合わせ、一体的にPR)
 - サッカー公式試合での交流促進
- ◆瀬戸内海の「海」の魅力の発信
(香川県・岡山県・本四)
 - 本四架橋を中心としたインフラツーリズム
(民間が主体となったインフラツーリズムの取り組み)に変更
 - 瀬戸内海国立公園ウォーク
- ◆環瀬戸内海地域の歴史や文化のネットワーク化
(高知県・本四・兵庫県・徳島県)
 - 歴史的遺産のネットワーク構築とPR
 - 文化芸術ネットワークの推進
- ◆環瀬戸内海地域における食文化の発信・伝承
(徳島県・兵庫県)
 - 食文化のPR
(環瀬戸内海地域の体験型食イベントPR)を追加

産業連携

R2d第1回協議会

- 物流機能の強化
- 産業基盤の整備

《各県が主体的に推進》

移動しやすい環境の整備

H30d第1回協議会

- 高速道路ナンバリング等
【年次計画の策定】《各県が主体的に推進》
【印刷物への記載促進】《各県が主体的に推進》
- 観光地名称を表示した標識
【直轄国道以外に拡大】《各県が主体的に推進》
- 案内の多言語化
【英語表記の適正化】《各県が主体的に推進》
- 観光地における渋滞緩和
【観光地における渋滞対策の検討・対策実施】《各県が主体的に推進》
- 利用者目線に沿ったモデル周遊ルートの設定
【観光地までのルート、所要時間を案内】《各県が主体的に推進》
- 2次交通の改善、MaaS、道路ネットワーク整備

「道の駅」の観光拠点化

H30d第1回協議会

- 「道の駅」におけるインバウンド対応・交流促進の取組
【観光客の実態調査】《地整が事例収集・提供、各県が主体的に推進》
【トイレの洋式化、フリーWi-Fi設置、体験型アトラクション等の充実、クレジットカード対応・免税対応、多言語化】《各県が主体的に推進》
【道の駅での相互連携】《地整・各県が主体的に推進》
- 「道の駅」施設管理における見える化
【情報提供施設・トイレ等を評価し、各道の駅で快適性向上の取組を実施】《地整がとりまとめ、快適性向上の取組を各県が主体的に推進》

情報発信

H30d第1回協議会

- 【自治体広報誌で四国・中国地域の相互広報】《高知県》
- 【情報コンテンツの充実・オフィシャルロゴ】《本四高速・四国地整》
- 【四国八十八景のプロモーション】《四国運輸局》
- 【本四高速の新たな料金の広報】《本四》
- その他：SNSやHPを活用したインパクトのある情報、目に留まりやすい情報発信